

(19)



JAPANESE PATENT OFFICE

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11) Publication number: **10222508 A**

(43) Date of publication of application: 21 . 08 . 98

(51) Int. Cl.

G06F 17/24
G09G 5/22
(21) Application number: **09040166**(71) Applicant: **AREFU SYST:KK**

(22) Date of filing: 07 . 02 . 97

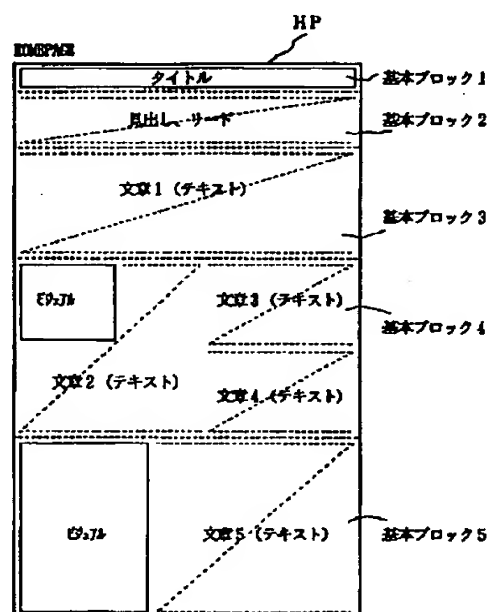
(72) Inventor: **KUSANAGI YUJI**(54) **COMPUTER SCREEN LAYOUT EDITING METHOD**

(57) Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a computer screen layout editing method which specializes minimum functions for the purpose of creating a home page and easily edits, further confirming a display state on a browser.

SOLUTION: This method first designates an input pattern that brings about a vertical split or a horizontal split when a computer screen is split into plural blocks. The computer screen is split into plural blocks in accordance with a designated input pattern, and each block is successively numbered. A block number is designated, and character data or image data is inputted in a block unit. Data on a finish screen is created based on input data in order of a small block number, and an HTML (hypertext markup language) file of a home page is created. The HTML of the home page is registered on a server.

COPYRIGHT: (C)1998,JPO



(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平10-222508

(43) 公開日 平成10年(1998) 8月21日

(51) Int.Cl.⁶

識別記号

F I

G 0 6 F 17/24

G 0 6 F 15/20

5 3 6

G 0 9 G 5/22

6 8 0

G 0 9 G 5/22

6 8 0 L

G 0 6 F 15/20

5 4 6 A

審査請求 未請求 請求項の数 5 F D (全 10 頁)

(21) 出願番号

特願平9-40166

(22) 出願日

平成9年(1997) 2月7日

(71) 出願人 597026238

株式会社アレフシステムズ

東京都渋谷区鉢山町12番3号

(72) 発明者 草薙 裕二

東京都渋谷区鉢山町12番3号 株式会社ア

レフシステムズ内

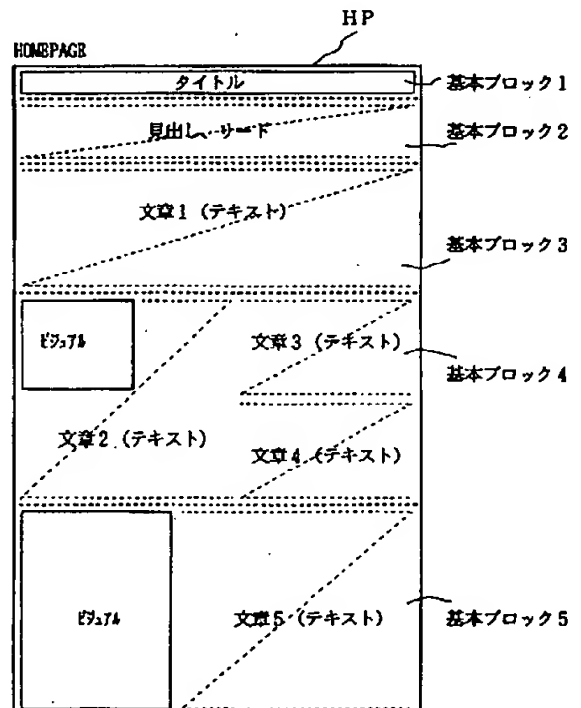
(74) 代理人 弁理士 日比 恆明

(54) 【発明の名称】 コンピュータ画面レイアウト編集方法

(57) 【要約】

【課題】 ホームページを作成するための必要最小限の機能に特化し、さらにブラウザ上での表示状態を確認しながら容易に編集することができるコンピュータ画面レイアウト編集方法を提供する。

【解決手段】 コンピュータ画面を複数のブロックに分割する際に、最初に上下方向に分割するか左右方向に分割するかを入力パターンを指定する。指定された入力パターンに応じてコンピュータ画面を複数のブロックに分割し、各ブロックに順番に番号付けを行う。ブロック番号を指定し、ブロック単位で文字データまたは画像データを入力する。ブロック番号の若い順に入力データに基づいた仕上がり画面のデータを生成し、ホームページのHTMLファイルを作成する。ホームページのHTMLファイルをサーバに登録する。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 コンピュータ画面上でインターネットに発信するホームページを作成するコンピュータ画面レイアウト編集方法において、

コンピュータ画面を複数のブロックに分割する際に、最初に上下方向に分割するか左右方向に分割するかを入力パターンを指定するステップと、

前記入力パターンに応じて前記コンピュータ画面を複数のブロックに分割し、各ブロックに順番に番号付けを行うステップと、

前記ブロック番号を指定し、ブロック単位で文字データまたは画像データを入力するステップと、

前記ブロック番号の若い順に入力データに基づいた仕上がり画面のデータを生成し、ホームページのHTMLファイルを作成するステップと、

前記ホームページのHTMLファイルをサーバに登録するステップとを備えたことを特徴とするコンピュータ画面レイアウト編集方法。

【請求項2】 コンピュータ画面を上下方向に上下分割して基本ブロックを構成し、各基本ブロック内に各基本ブロックを左右方向に分割して左右分割ブロックを構成し、各左右分割ブロック内に各左右分割ブロックを上下方向に分割して左右一上下分割ブロックを構成することを特徴とする請求項1に記載のコンピュータ画面レイアウト編集方法。

【請求項3】 左右分割ブロックの分割位置は左右サイズに対する比率指定により設定し、基本ブロックおよび左右一上下分割ブロックの分割位置はブロックに表示されるデータ量によって自動設定することを特徴とする請求項2に記載のコンピュータ画面レイアウト編集方法。

【請求項4】 コンピュータ画面を左右方向に左右分割して基本ブロックを構成し、各基本ブロック内に各基本ブロックを上下方向に分割して上下分割ブロックを構成し、各上下分割ブロック内に各上下分割ブロックを左右方向に分割して上下一左右分割ブロックを構成することを特徴とする請求項1に記載のコンピュータ画面レイアウト編集方法。

【請求項5】 基本ブロックおよび上下一左右分割ブロックの分割位置は左右サイズに対する比率指定により設定し、上下分割ブロックのサイズはブロックに表示されるデータ量によって自動設定することを特徴とする請求項4に記載のコンピュータ画面レイアウト編集方法。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】 本発明は、インターネットに発信するホームページの作成に用いるコンピュータ画面レイアウト編集方法に関する。

【0002】

【従来の技術】 ホームページは、HTML (Hyper Text Markup Language) 言語で記述されたテキスト・ファイ

ル（以下「HTMLファイル」という。）である。したがって、このHTMLファイルは、テキスト・エディターを用いて自由に作成・編集することができる。

【0003】 ここで、図8を参照し、ホームページを作成してプロバイダのサーバに登録する手順について説明する。 テキスト・エディターを用いてホームページのHTMLファイルを作成する。 ブラウザを用いて作成したHTMLファイルを表示してみる。なお、ブラウザは、タグ付きのHTMLファイルを読み込むと、それぞれのタグの機能を解釈して文字や画像を指定の位置に指定の大きさで表示するソフトウェアである。 ファイル転送プロトコル (FTP) の手順に従って、サーバにホームページのHTMLファイルをアップロードする。以上により、ホームページの登録が完了する。

【0004】 ところで、テキスト・エディターを用いてホームページのHTMLファイルを作成する場合には、HTML言語のタグを理解することが不可欠であった。また、ブラウザ上で表示される状態を想定して作成することは容易ではなかった。そこで、HTML言語を知らなくても、あるいは意識しなくても、簡単にホームページのHTMLファイルを作成できるHTMLエディターが開発されている。

【0005】 従来のHTMLエディターには、例えばテキストを入力し、範囲指定してタグを貼りつけていくタイプや、通常のワープロソフトで作成したデータをHTML言語に変換するタイプなどがある。後者のHTMLエディターは、ワープロソフトで文書を作成する要領でホームページを作成でき、かつブラウザで見える画面とほぼ同じイメージで編集できる。また、ホームページをHTML言語で記述した画面に切り替え、直接タグを入力することもできる。

【0006】

【発明が解決しようとする課題】 従来のHTMLエディターでは、文字や画像のレイアウトに関する制約が大きく、また設定方法も複雑なものがあり、必ずしも使い勝手がよいものではなかった。また、各種の機能を盛り込むあまり、操作が複雑かつ判りにくくなっていた。例えば、レイアウト、文字の書体、文字の大きさ、文字の色等を指定する際には、HTML言語の知識が必要になっていた。

【0007】 本発明は、ホームページを作成するための必要最小限の機能に特化し、さらにブラウザ上での表示状態を確認しながら容易にブラウザ上で編集することができるコンピュータ画面レイアウト編集方法を提供することを目的とする。

【0008】

【課題を解決するための手段】 請求項1に記載のコンピュータ画面レイアウト編集方法では、コンピュータ画面を複数のブロックに分割し、ブロック単位で文字または画像を入力し、編集する方法をとる。

3

【0009】第1のステップは、コンピュータ画面を複数のブロックに分割する際に、最初に上下方向に分割するか左右方向に分割するかを入力パターンを指定する。第2のステップは、指定された入力パターンに応じてコンピュータ画面を複数のブロックに分割し、各ブロックに順番に番号付けを行う。第3のステップは、ブロック番号を指定し、ブロック単位で文字データまたは画像データを入力する。第4のステップは、ブロック番号の若い順に入力データに基づいた仕上がり画面のデータを生成し、ホームページのHTMLファイルを作成する。第5のステップは、ホームページのHTMLファイルをサーバに登録する。

【0010】請求項2に記載のコンピュータ画面レイアウト編集方法では、コンピュータ画面の分割方法を次のように設定する。コンピュータ画面を上下方向に上下分割して基本ブロックを構成し、各基本ブロック内に各基本ブロックを左右方向に分割して左右分割ブロックを構成し、各左右分割ブロック内に各左右分割ブロックを上下方向に分割して左右-上下分割ブロックを構成する。請求項3に記載のコンピュータ画面レイアウト編集方法では、左右分割ブロックの分割位置は左右サイズに対する比率指定により設定し、基本ブロックおよび左右-上下分割ブロックの分割位置はブロックに表示されるデータ量によって自動設定する。

【0011】請求項4に記載のコンピュータ画面レイアウト編集方法では、コンピュータ画面を左右方向に左右分割して基本ブロックを構成し、各基本ブロック内に各基本ブロックを上下方向に分割して上下分割ブロックを構成し、各上下分割ブロック内に各上下分割ブロックを左右方向に分割して上下-左右分割ブロックを構成する。

【0012】請求項5に記載のコンピュータ画面レイアウト編集方法では、基本ブロックおよび上下-左右分割ブロックの分割位置は左右サイズに対する比率指定により設定し、上下分割ブロックの分割位置はブロックに表示されるデータ量によって自動設定する。

【0013】

【発明の実施の形態】本発明のコンピュータ画面レイアウト編集方法では、ホームページの画面を上下または左右に複数の基本ブロックで構成することができ、各基本ブロックをさらにそれぞれ上下左右に分割して枝番ブロックに細分化することができ、分割したそれぞれの枝番ブロック単位で文字または画像を入力し、最終的に各枝番ブロックを結合して基本ブロックを組み立て、各基本ブロックを自動的に上下または左右に結合して編集する方法をとる。基本ブロックの分割方法には、複数の枝番ブロックを上下に分割する（並べていく）Aタイプと、左右に分割する（並べていく）Bタイプがある。ユーザは、入力パターンとしてまずAタイプまたはBタイプを選択し、ホームページを上下または左右に複数の基本ブロッ

4

クに分割する（ホームページをそのまま使用するのであれば、基本ブロックに分割する必要はない）。それから各基本ブロックをさらに上下又は左右に分割して枝番ブロックとし、分割した細くなった各枝番ブロックに文章やビジュアル（写真、図形など）のデータを入力する。なお、ホームページを分割して形成した基本ブロックの数には上下方向、あるいは左右方向には制限が無く、多数の基本ブロックに分割してレイアウトを細かくすることができることは言うまでもない。また、本実施例では各基本ブロックを上下及び左右に分割して枝番ブロックを区画する工程を最大3回までのもので説明しているが、この実施例に限定されず、枝番ブロックをさらに数多く分割することもでき、よりきめ細かいレイアウトも可能である。

【0014】まず、図1は本発明のコンピュータ画面レイアウト編集方法により、ホームページHPを生成した後の画面表示を模式的に示したものである。この図1では前述したAタイプに対応するものである。パソコンなどの端末の画面でみることができ、このホームページHPの左右が画面の左右の幅と同じサイズとなる。ホームページHPの上下方向の長さについては、そのホームページHPに編集されたデータの量によって変動し、データ量が多くなるとホームページHPの上下の長さは長くなり、画面上ではスクロールして読み取ることができる。

【0015】このホームページHPは編集が終わってレイアウトが完了した状態のものであり、1ページ分のホームページHPは基本ブロック1～5を上下に結合して生成してある（図1では基本ブロックを5分割してあるが、この数に限定されるものではない）。各基本ブロック1～5の間は図1では鎖線で示してあるが、実際には編集により切れ目のない1ページ分の画面となっているため、画面を見る人にとってはこの境界を認識することはできない。この1ページ分のホームページHPを上下に分割してそれぞれを基本ブロック1～5とし、次いで各基本ブロック1～5の内部をそれぞれ左右、上下にさらに分割して枝番ブロックとすることができ、細分化した枝番ブロックの最適な位置に文章（テキスト文）やビジュアル（写真、図形、イラストなど）のデータを挿入する。このデータを挿入する作業工程では、各枝番ブロック毎に処理することになり、枝番ブロックごとにデータ加工を行うことになる。そして、最終的に編集の機能を作動させると、枝番ブロックが順番通りに組み立てられて一つの基本ブロックを生成し、複数の基本ブロックが上下に結合して一つのホームページHPを生成することができる。つまり、細かく細分化した枝番ブロック毎にデータ入力の作業を順次行っていく、全ての枝番ブロックにデータが挿入されたなら、ジグソーパズルを組み合わせるように各枝番ブロックがその枝番番号の順に組み立てられて基本ブロックを生成し、次いで基本ブロック

を上下に結合して一体化となったホームページHPを編集することができる。

【0016】次に、図2は本発明のコンピュータ画面レイアウト編集方法により、ホームページHPを生成した後の画面表示を模式的に示したものであり、図2では前述したBタイプに対応する。このホームページHPはパソコンなどの端末の画面でみることができ、このホームページHPの左右が画面の左右の幅と同じサイズとなる。ホームページHPの上下方向の長さについては、そのホームページHPに編集されたデータの量によって変動し、データ量が多くなるとホームページHPの上下の長さは長くなり、画面上ではスクロールして読み取ることができる。

【0017】このホームページHPは編集が終わってレイアウトが完了した状態のものであり、1ページ分のホームページHPは基本ブロック1～3を左右に結合して生成してある(図2では基本ブロックを3分割してあるが、この数に限定されるものではない)。各基本ブロック1～3の間は図2では鎖線で示してあるが、実際には編集により切れ目のない1ページ分の画面となっているため、画面を見る人にとってはこの境界を認識することはできない。この1ページ分のホームページHPを左右に分割してそれぞれを基本ブロック1～3とし、次いで各基本ブロック1～3の内部をそれぞれ上下、左右にさらに分割して枝番ブロックとすることができ、細分化した枝番ブロックの最適な位置に文章(テキスト文)やビジュアル(写真、図形、イラストなど)のデータを挿入する。このデータを挿入する作業工程では、各枝番ブロック毎に処理することになり、枝番ブロックごとにデータ加工を行うことになる。

【0018】次に、図3は、本発明のコンピュータ画面レイアウト編集方法におけるAタイプの基本ブロックを枝番ブロックに分割する例を示している。

【0019】図1におけるホームページHPを上下に分割した一つの基本ブロック1が図3(a)で示されている。この基本ブロック1が編集するための最小単位となり、上下左右のサイズはともに絶対値指定ではなく可変である。このサイズは、情報量またはコンピュータ画面で見るサイズに応じて基本ブロックの表示サイズは変わる。ただし、左右サイズについては、コンピュータ画面の左右サイズを100%とした比率指定が可能である。これにより、各種のコンピュータ画面の表示サイズに柔軟に対応しながら、ユーザが任意に指定することも可能である。

【0020】この基本ブロック1は、図3(a)に示すように左右に複数に分割(左右分割)できる。基本ブロック1を例えば3分割すると、分割した各枝番ブロックには、枝番ブロック1-1、1-2、1-3のように左から順に通し番号(枝番号)がふられる。この図3(a)における左右分割において、最初に枝番ブロック1-1の

左右分割比率として10%を指定し、次に残りの90%に対して、枝番ブロック1-2の左右分割比率として30%を指定すると、残った最後の枝番ブロック1-3の左右分割比率は自動的に60%になった例である。

【0021】左右に分割した各枝番ブロック1-1、1-2、1-3は、図3(b)に示すようにさらに上下に複数に分割(上下分割)が可能であり、分割した各枝番ブロックごとに上から順番に通し番号がふられる。例えば、枝番ブロック1-2を3分割すると、上から枝番ブロック1-2-1、1-2-2、1-2-3の通し番号がふられる。同様に、枝番ブロック3を2分割すると、上から枝番ブロック1-3-1、1-3-2の通し番号がふられる。

【0022】このようにして上下に分割された各枝番ブロックは、図3(c)に示すようにさらに左右に複数に分割が可能であり、分割した各枝番ブロックごとに左から順番に通し番号がふられる。この左右の分割の分割位置は、分割された各枝番ブロックの左右サイズを100%とした比率によって決められる。例えば、図3(c)における枝番ブロック1-3-2を左右に2分割する場合、最初に枝番ブロック1-3-2-1について50%と指定すると、枝番ブロック1-3-2の左右サイズ(コンピュータ画面の左右サイズの60%分)に対して50%の枝番ブロック1-3-2-1となる。すると、残った枝番ブロック1-3-2-2の左右サイズは50%に自動的に分割される。

【0023】また、図4は、本発明のコンピュータ画面レイアウト編集方法におけるBタイプの基本ブロック1を枝番ブロックに分割する例を示している。

【0024】この図4(a)は、図2におけるホームページHPを上下に分割した一つの基本ブロック1が示されている。この基本ブロック1が編集するための最小単位となり、上下左右のサイズはともに絶対値指定ではなく可変である。このサイズは、情報量またはコンピュータ画面で見るサイズに応じて基本ブロックの表示サイズは変わる。ただし、左右サイズについては、コンピュータ画面の左右サイズを100%とした比率指定が可能である。これにより、各種のコンピュータ画面の表示サイズに柔軟に対応しながら、ユーザが任意に指定することも可能である。この基本ブロック1を左右上下に分割することにより、初心者でも画面のレイアウトをすることができる。各基本ブロック1には上下に順に通し番号がふられるが、1ページを構成する最大基本ブロック数は特に制限を設けない。

【0025】図4(a)は、最小単位である基本ブロック1を3つの枝番ブロック1-1、1-2、1-3に上下に複数に分割(上下分割)した例である。

【0026】それぞれの枝番ブロックは、図4(b)に示すようにさらに左右に複数に分割(左右分割)することが可能であり、分割した各枝番ブロックごとに左から順

番に通し番号(枝番号)がふられる。例えば、枝番ブロック1-2を3分割すると、枝番ブロック1-2はさらに分割されて左から枝番ブロック1-2-1、1-2-2、1-2-3の通し番号がふられる。この左右分割において、最初に枝番ブロック1-2-1の左右分割比率として20%を指定し、次に残りの80%に対して、枝番ブロック1-2-2の左右分割比率として40%を指定すると、残った最後の枝番ブロック1-2-3の左右分割比率は自動的に40%になった例である。

【0027】同様に、枝番ブロック1-3を左右に2分割すると、左から枝番ブロック1-3-1、1-3-2の通し番号がふられる。この左右分割において、最初に枝番ブロック1-3-1の左右分割比率として50%を指定すると、残った枝番ブロック1-3-2の左右分割比率は自動的に50%になった例である。

【0028】左右に分割された各枝番ブロックは、図4(c)に示すようにさらに上下に複数に分割(上下分割)することが可能であり、分割した各枝番ブロックごとに上から順番に通し番号がふられる。この枝番ブロック1-3-2を上下に分割すると、上から順に枝番ブロック1-3-2-1、1-3-2-2の通し番号がふられる。

【0029】本発明のコンピュータ画面レイアウト編集方法では、ホームページHPの1ページ分を複数の基本ブロック1で構成させ、複数の基本ブロック1を上下(Aタイプ)あるいは左右(Bタイプ)に連結することであつても大きな画面を編集したように見せることができるものである。そして、各基本ブロックを図3または図4に示すようにさらに上下左右に細かな枝番ブロックに分割し、各枝番ブロック単位に文字情報またはビジュアル(画像、図形)情報を入力し、最後に貼り合わせることで完成した基本ブロック1を生成する。こうして生成した複数の基本ブロック1をさらに上下あるは左右に貼り合わせて大きな1ページのホームページHPを作成することができる。以下、図5に示すフローチャートを参照して、本発明におけるホームページの作成・編集手順の概要について説明する(なお、このフローチャートでは最小の単位である基本ブロック1を細かく分割した枝番ブロックより生成する手順について説明している)。

【0030】(ステップ1)

【0031】サーバ等から入力パターン選択画面(この画面は本実施例では図示していない)を読み込む。

【0032】(ステップ2)

【0033】入力パターンとして、上記のAタイプまたはBタイプを選択する(選択画面は図示していないが、AタイプまたはBタイプのアイコンをクリックする操作で選択できる)。Aタイプを選択した場合には、入力パターンAの設定データと、固定プログラム(コンピュータ画面レイアウト編集プログラム)がサーバ等から読み

込まれる。Bタイプを選択した場合には、入力パターンBの設定データと、固定プログラム(コンピュータ画面レイアウト編集プログラム)がサーバ等から読み込まれ、次いでそれぞれの入力パターンのデータ入力画面が表示される。本実施例では、入力パターンAを選択してAタイプを選ぶと、後述する図7の画面が表示されることになる(本実施例では、入力パターンBのBタイプの画面は説明を省略している)。

【0034】(ステップ3)

【0035】ユーザは、図3に示すようなブロックレイアウトに対応するブロック番号を指定し、データを入力する。例えば、文字情報を入力する場合には、編集用に用意された文字入力ボックスに別途用意された文字情報を貼るか、または文字を書き込む。次に、書き込んだ文字の書体、大きさ、色、ブロック内での文字の位置を予め用意されたメニューで指定する。文字の位置は、例えば左寄せ、中央、右寄せ等を指定する。

【0036】また、ビジュアル(画像、図形)情報を入力する場合には、予め作成しておいたビジュアルのファイル名を画像ファイル指定ボックスに入力する。次に、ブロック内でのビジュアルの位置を予め用意されたメニューで指定する。ビジュアルの位置は、例えば左寄せ、中央、右寄せ等を指定する。なお、一つの基本ブロックまたは枝番ブロック内に複数のビジュアル情報を入れることも可能である。また、同一ブロック内に文字情報およびビジュアル情報を入れることも可能である。表示位置は、それぞれ指定された位置に従う。

【0037】以上の操作は、ホームページHPの1ページ分を構成する各ブロックに文字情報または画像情報が入力されるまで繰り返す。メモリ中には、ブロック番号単位で整理されたデータが一時的に保存される。

【0038】(ステップ4)

【0039】入力が終了して事前確認ボタンを押すと、ブロック番号の若い順に、ユーザの指定や入力データに基づいた仕上がり画面のデータが生成され、ブラウザで表示される1ページ分のホームページHPの登録画面が現れ、仕上がりを確認することができる。ここで修正がある場合には、ブロック番号を再入力することによりブロック単位で修正を行うことができる。事前確認ボタンを押さない場合には、仕上がり画面は表示されない。

【0040】(ステップ5)

【0041】登録ボタンを押すと、同様にブロック番号の若い順に、ユーザの指定や入力データに基づいた仕上がり画面のデータが生成され、ファイル転送プロトコル(FTP)の手順に従って、サーバにホームページのHTMLファイルがアップロードされる。

【0042】図6は、図5に示すフローチャートのステップ4またはステップ5におけるデータ生成手順を示す。

【0043】一時的に保存されたメモリ中のデータの中

から、ブロック番号の若い順に、順次ブロックを生成する。そして、そのブロックにデータがあれば、ブロック内にデータを入れて出力する。データがなければ、枠だけを出力する。次にブロック閉じを出力してブロックは完成する。

【0044】また、基本ブロック1に枝番ブロック（左右分割または上下分割したブロック）があれば、その枝番ブロックを生成し、そのデータを出力する。さらに、その枝番ブロックに枝番ブロック（左右-上下分割または上-下-左右分割した枝番ブロック）があれば、その枝番ブロックを生成し、そのデータを出力する。メモリ中にデータがなくなった時点で、画像データの生成を終了する。

【0045】図7は、本発明のコンピュータ画面レイアウト編集方法に用いられる入力画面の一例を示す。ここでは、Aタイプ（上下積み型）のものを示すが、Bタイプ（左右積み型）でも同様の入力画面である。

【0046】入力画面は、大きく分けて文字情報（テキスト）を入力するテキスト入力エリア10と、画像情報（ビジュアル）を入力するビジュアル挿入エリア20と、事前確認ボタン30と、登録ボタン40とにより構成される。

【0047】テキスト入力エリア10は、ブロック番号指定ボックス11と、文字入力ボックス12と、位置指定ボックス13と、文字指定ボックス14と、文字サンプルボタン15により構成される。

【0048】テキスト（文章）入力に対するブロック番号指定ボックス11には、基本ブロック番号を指定する基本ブロック番号指定部111、指定した基本ブロックを左右に分割する枝番ブロックの通し番号および分割位置（比率）を指定する左右分割指定部112、左右分割指定部112で指定された枝番ブロックを上下に分割するために枝番ブロックの分割数を指定する上下分割指定部113、上下分割指定部113で指定された枝番ブロックを左右分割する枝番ブロックの通し番号および分割位置（比率）を指定する左右分割指定部114を有する。基本ブロック番号の指定は、基本ブロック番号指定部111の「<」または「>」ボタンを操作して行う。ここには、常に現在入力中の基本ブロック番号が表示される（この基本ブロックの図1における基本ブロック1～5の何れかに対応する）。

【0049】基本ブロックを左右に分割する場合には、左右分割指定部112で枝番ブロックの通し番号および分割位置（比率）を指定する（基本ブロックを左右に分割した状態は図3(a)で示されている）。左右に分割された枝番ブロックをさらに上下に分割する場合には、上下分割指定部113で分割する枝番ブロックの数を指定する。2分割の場合には“2”、3分割の場合に“3”と指定する（枝番ブロックを上下に分割した状態は図3(b)で示されている）。こうして分割された枝番ブロッ

クをさらに左右に分割する場合には、左右分割指定部114でその枝番ブロックの通し番号および分割位置（比率）を指定する（枝番ブロックを左右に分割した状態は図3(c)で示されている）。

【0050】文字入力ボックス12には、本文や見出しなどの文字要素を入力する。入力した文字のレイアウトは、位置指定ボックス13で「左寄せ」、「中央」、「右寄せ」のいずれかを指定する。入力した文字の「書体」、「大きさ」、「色」は、文字指定ボックス14に用意されているメニューの中からそれぞれ選択する。なお、文字サンプルボタン15を押すことにより、別ウインドに各指定の文字サンプルを表示させることができる。

【0051】ビジュアル挿入エリア20は、基本ブロック番号指定ボックス211と、枝番ブロック番号指定ボックス212、213、214と、画像ファイル指定ボックス22と、位置指定ボックス23とにより構成される。基本ブロックの番号指定は、基本ブロック番号指定ボックス211のメニューの中から指定するブロック番号を選択する。基本ブロックを左右上下に分割した枝番ブロックの通し番号の指定は、各枝番ブロック番号指定ボックス212、213、214のメニューの中から指定する枝番ブロックの通し番号を選択する。この実施例では、基本ブロック番号指定ボックス211は基本ブロック番号指定部111に対応し、枝番ブロック番号指定ボックス212は左右分割指定部112に対応し、枝番ブロック番号指定ボックス213は上下分割指定部113に対応し、枝番ブロック番号指定ボックス214は左右分割指定部114に対応している。

【0052】このビジュアル挿入エリア20には基本ブロック番号指定ボックス211、枝番ブロック番号指定ボックス212、213、214はそれぞれ3組あり、1つの枝番ブロック内に最大3つのビジュアル（画像）を挿入することができる。画像ファイル指定ボックス22には、挿入するビジュアル（画像）のファイル名を指定する。「Browse...」ボタン24を押すと、ファイルの選択ボックスが開くので、ハードディスクにある画像データファイルを選択することができる。ここで指定されたファイルが、登録時にサーバへアップロードされる。挿入するビジュアル（画像）のレイアウトは、位置指定ボックス23で「左寄せ」、「中央」、「右寄せ」のいずれかを指定する。なお、本実施例ではビジュアル挿入エリア20には挿入指定のボックスは3組が用意してあるが、実際にはこの数に限定されることがなく、プログラム上では組数はこの数よりも多くても実行することが可能である。

【0053】事前確認ボタン30を押すと、それまで入力されたデータに従って別ウインドにページイメージが表示される。このページイメージと入力データを見比べながら画面を確認し、登録ページを満足のいくレイアウト

トに仕上げていく。すべてのデータを入力し、レイアウトに問題がなければ登録ボタン40を押す。これにより、全データがサーバへアップロードされる。

【0054】なお、ここには図示していないが、予めタイトル、登録者名、Eメールアドレス、ホームページ登録における基本的情報等を入力するエリアが設けられている。

【0055】

【発明の効果】以上説明したように、本発明のコンピュータ画面レイアウト編集は、ブラウザ画面上で全て行うことができ、パソコンにソフトウェアをインストールする必要が無いので操作が簡易となる。また、このレイアウト編集方法では、コンピュータ画面を複数の枝番ブロックに分割し、枝番ブロック単位で文字または画像を入力できるので、文字または画像のレイアウト設定が極めて容易になる。また、文字の書体、大きさ、色等は、メニュー指定により容易に設定することができる。さらに、仕上がり画面を確認しながら枝番ブロック単位で編集や修正を行うことができるので、使い勝手がよい。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明のコンピュータ画面レイアウト編集方法における上下分割のAタイプのホームページ画面を生成した状態を示す図である。

【図2】本発明のコンピュータ画面レイアウト編集方法における左右分割のBタイプのホームページ画面を生成した状態を示す図である。

【図3】本発明のコンピュータ画面レイアウト編集方法におけるAタイプのブロック分割例を示す図である。

【図4】本発明のコンピュータ画面レイアウト編集方法におけるBタイプのブロック分割例を示す図である。

【図5】本発明におけるホームページの作成・編集手順の概要を説明するフローチャートである。

【図6】図5に示すフローチャートのステップ4またはステップ5におけるデータ生成手順を示すフローチャートである。

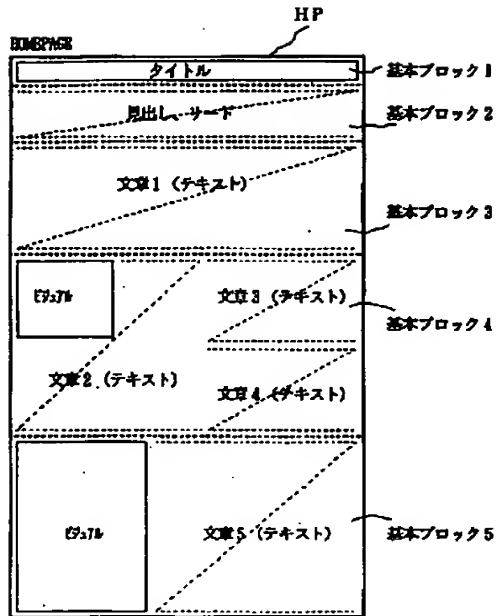
【図7】本発明のコンピュータ画面レイアウト編集方法に用いられる入力画面(Aタイプ用のもの)の一例を示す図である。

【図8】ホームページを作成してプロバイダのサーバに登録する手順の概要を説明する図である。

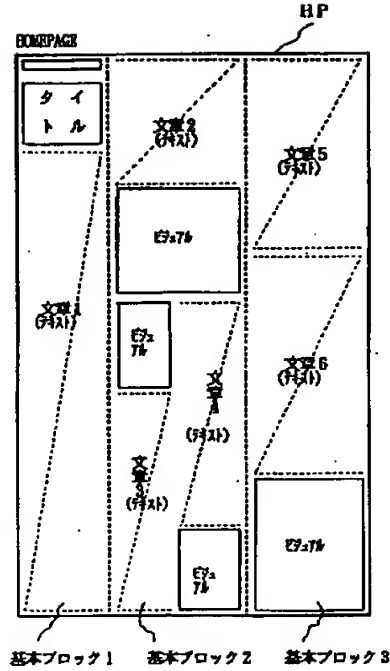
【符号の説明】

- | | | |
|----|-----|----------------|
| 10 | 1 | 基本ブロック |
| | 1-1 | 枝番ブロック |
| | 1-2 | 枝番ブロック |
| | 1-3 | 枝番ブロック |
| | 10 | テキスト入力エリア |
| | 11 | ブロック番号指定ボックス |
| | 12 | 文字入力ボックス |
| | 13 | 位置指定ボックス |
| | 14 | 文字指定ボックス |
| | 20 | ビジュアル挿入エリア |
| 20 | 22 | 画像ファイル指定ボックス |
| | 23 | 位置指定ボックス |
| | 24 | 「Browse...」ボタン |
| | 30 | 事前確認ボタン |
| | 40 | 登録ボタン |
| | 111 | 基本ブロック番号指定部 |
| | 112 | 左右分割指定部 |
| | 113 | 上下分割指定部 |
| | 114 | 左右分割指定部 |
| | 211 | 基本ブロック番号指定ボックス |
| 30 | 212 | 枝番ブロック番号指定ボックス |
| | 213 | 枝番ブロック番号指定ボックス |
| | 214 | 枝番ブロック番号指定ボックス |

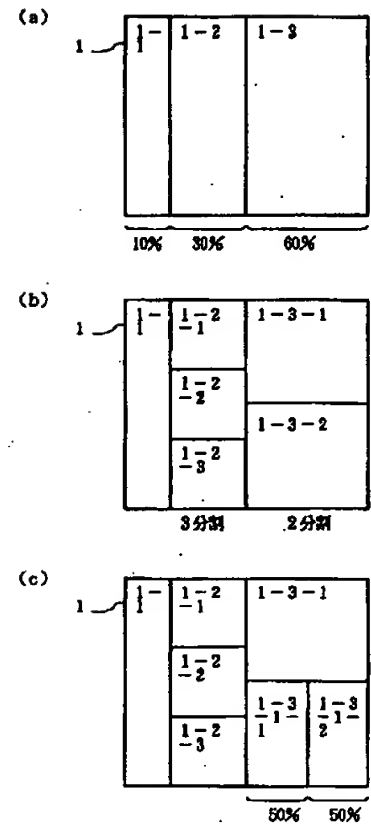
【図1】



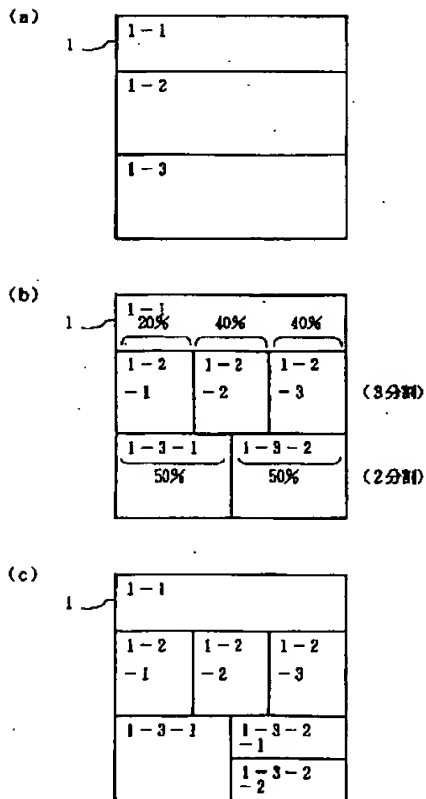
【図2】



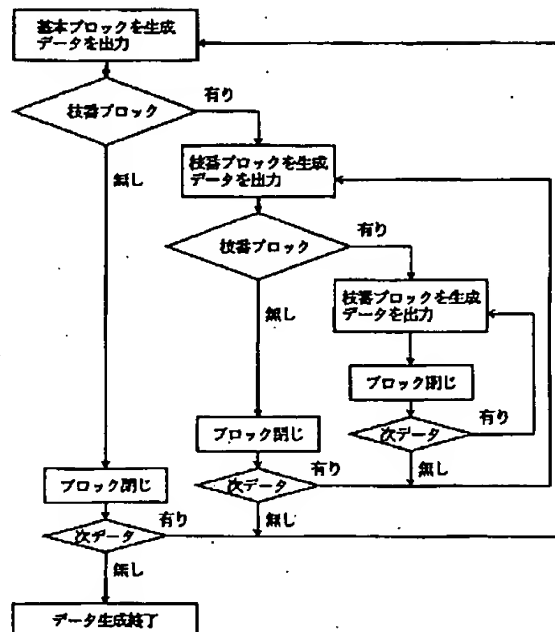
【図3】



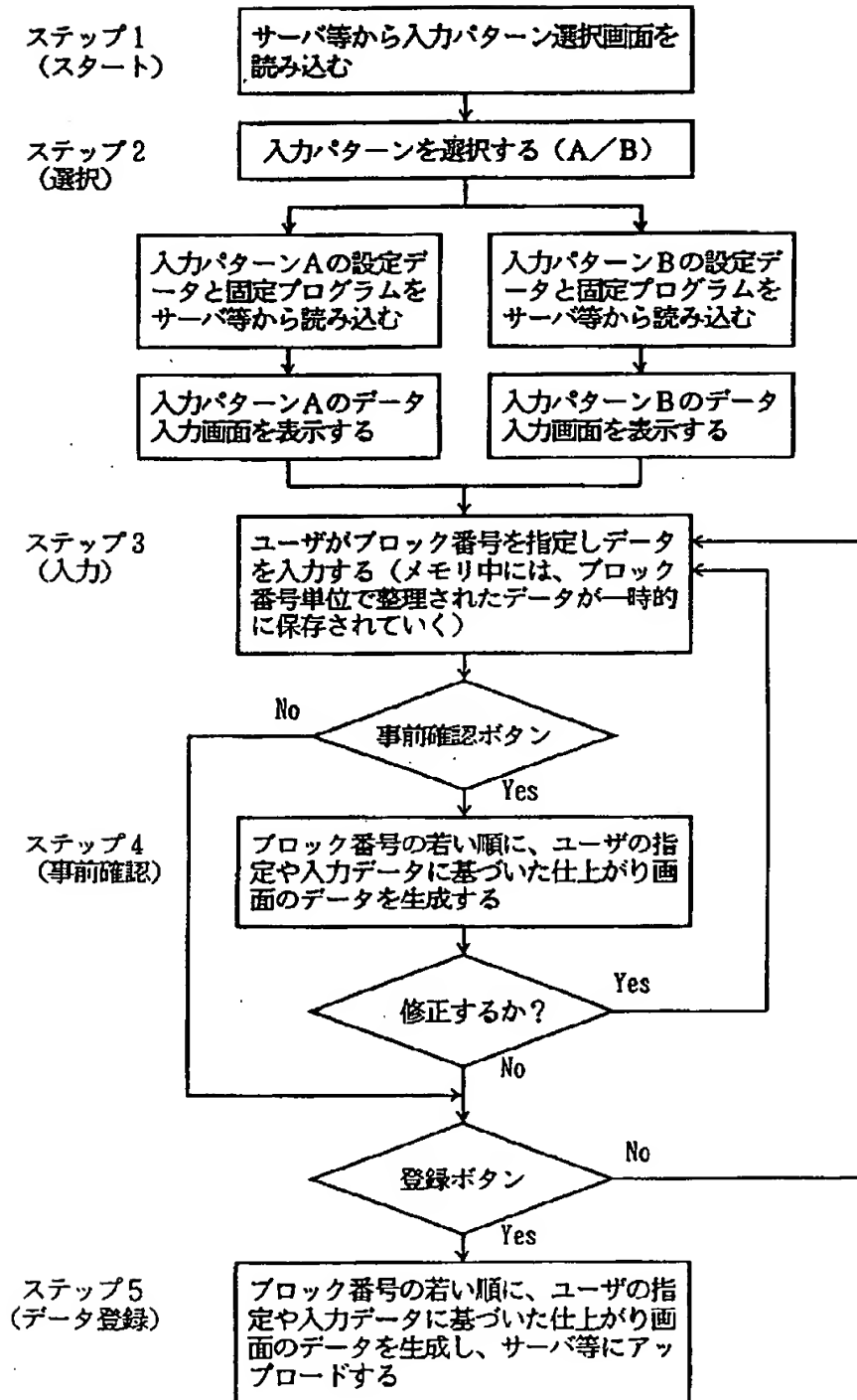
【図4】



【図6】



【図5】



【图 8】

②ブラウザ

①HTML・受け

HTMLファイル

端末

サーバ

プロバイダ

端末

端末

プロバイダ

①アップロード